

【第63回国民体育大会ウエイトリフティング競技会】大分県選手の活躍のようす

ウエイトリフティング競技1日目【10月4日(土)】

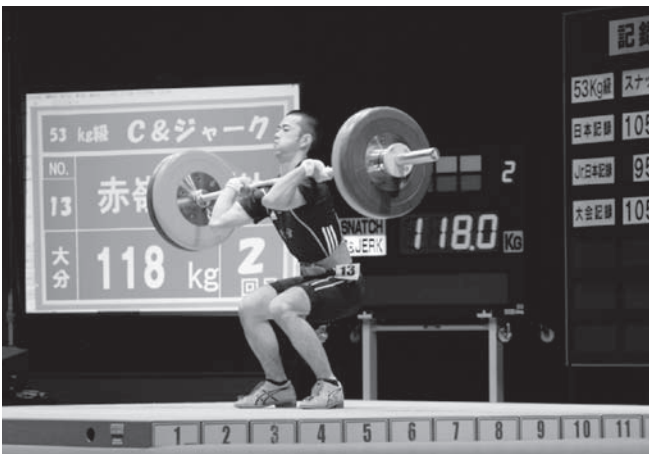
第1会場(アストホール) 成年男子53・56kg級

秋田国体(少年・C&ジャーク)優勝の赤嶺直樹選手(九州国際大学)が、53kg級・C&ジャークで118キロを挙げ優勝、トータルでは210キロの日本ジュニアアタイ記録をマークし、大分県チームにとって幸先の良いスタートとなりました。

また、56kg級に出場した地元国東市出身の古庄佑基選手(明治大学)も、トータルで210キロを挙げ7位入賞を果たしました。

第2会場(アグリホール) 少年男子53kg級

53kg級に出場した工藤晃平選手(杵築高校3年)は、C&ジャークの3度目の試技で101キロを成功させ7位入賞を果たしました。



▲優勝した赤嶺選手のC&ジャークの試技



▲工藤選手のスナッチの試技



▲古庄選手のC&ジャークの試技

ウエイトリフティング競技2日目【10月5日(日)】

第2会場(アグリホール) 少年男子77・85kg級

77kg級に出場した内尾政和選手(宇佐高校3年)はスナッチが100キロで8位、得意のC&ジャークでは128キロを挙げて堂々の5位入賞を果たしました。

85kg級に出場した山本英明選手(大分工業高校3年)は、スナッチでは10位と入賞を逃したものの、C&ジャークで133キロを挙げ見事4位入賞を果たしました。



▲山本選手のC&ジャークの試技



▲内尾選手のC&ジャークの試技



▲地元高校生の活躍で盛りあがった第2会場のようす